

みどりかぜ  
×  
市議会

チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に

持続可能な社会の実現を目指して「緑のカーテン」の普及啓発に取り組んでいる、みどりかぜ（つるがしま緑のカーテン市民実行委員会）の方々に、令和6年2月7日（水）にインタビューを行いました。



市役所ロビーで行われる緑のカーテン展覧会の写真の作品

表紙の写真：インタビューに参加したみどりかぜのメンバー  
宮崎弘子さん、末永智子さん、東乃正信さん、前田則義さん

●涼しさ届ける「緑のカーテン」

緑のカーテンは、ツル性の植物（ゴーヤ、ヘチマなど）による建物などの壁面緑化で、夏の強い日差しを和らげ、室温の上昇を抑える効果があります。自宅の庭や集合住宅のベランダでも比較的簡単に作る事ができ、エアコンの省エネ・節電効果が期待されています。

●日頃の活動から思うこと

主な活動として、「緑のカーテン展覧会」を主催するほか、講習会や各種イベントの開催、「ヘチマ・プロジェクト」の推進及び協力、花の苗の提供や配布などの活動を、地域の企業や学生ボランティアの方々の協力を得ながら行っています。

私たちの活動を通して市民の皆さんに「緑のカーテン」に興味を持っていただき、参加してもらうことで、市の目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に貢献したいと思っています。

●大事な苗を育てる

皆さんに配布する「良い苗」を育てることも私たちの大切な活動です。種まきの時期や場所、土や水やりの工夫をしています。が、うまく育たない場合もあり、

●環境にやさしいまち

鶴ヶ島市は、市民団体の活動も活発で、環境活動への理解もあります。「鶴ヶ島市ゼロカーボンシティ宣言」は、私たちの活動の活力になっています。明るい未来と子どもたちのために、持続可能な社会を目指す取組を広げていきたいです。

●議員に一言

「市議会だより」が読みやすく工夫され、市民と議員の懇談会を行うなど、身近な議員に相談できる、風通しの良い議会だと思います。これからは、現役世代や親子連れなどの若い人達も気軽に参加できる議員との交流の場があれば、もっと議会に関心が向くと思います。



編集  
後記

長かったコロナ禍が明け、そして春を迎えることができました。本市では春の桜まつり以降、6月のガーデンパーク開園や8月の脚折雨乞など、明るい話題が続きます。

本市議会では、6月23日に市民と議員の懇談会を開催します。昨年度のアンケート意見などを踏まえ、南・富士見・西市民センターの3会場に分かれ、皆様のお話を伺います。本市の身近な課題や未来など語り合うのが楽しみです。これからも、より親しみの持てる議会を目指して活動して参ります。

(村上)

- (広報広聴委員)
- 委員長 小林ひとみ
  - 副委員長 今野雄一
  - 委員 太田忠芳
  - 委員 小川信茂
  - 委員 村上信吉
  - 委員 福島恵美
  - 委員 高篠雅洋
  - 委員 内野嘉広